

香教連速報

人事交渉

香教連会員の希望・要望を確実に県教委へ!

香川県教職員連盟は、2月1日(水)15:00から県庁北館4階の会議室において、香川県教育委員会との人事交渉を行った。香教連側は、矢代委員長以下3名が出席。県教委側は、西原義一香川県教育委員会教育長ほか11名が対応した。交渉の終わりに西原教育長よりお話をいただいた。

主要な要望と回答は、以下の通り。**太字は要望項目**、**香教連の主張はゴシック**、**県教委の回答は明朝斜体字**で表記している。



【香川県教職員連盟 参加者】



【要望書を西原教育長に手渡す】



【香川県教育委員会 参加者】

○ チーム学校の推進による学校の組織的な教育力を充実させるため、学校の実態に応じた人材の増配置を行うこと。



【安本事務局長】香教連はこれまで、学校経営の充実のため、養護教諭、学校事務職員の複数配置や、いじめ問題の未然防止や早期発見、早期対応を図ることや不登校児童・生徒の問題解決のために、スクールカウンセラーを増員したり、スクールソーシャルワーカーの派遣事業の充実について要望してきた。

香教連は養護教諭や学校事務職員の複数配置が、学校経営の充実を図る上で効果的な措置であると考えている。また、不登校などの問題行動は学校だけでは解決できないことが多く、子どもたちの居場所を確保したり、保護者の相談を受けたり関係機関との連携を図っていただけるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの存在は大きいと思われる。

しかし限られた予算の中で、全ての職員を配置することは不可能である。そこで、学校の実態に合わせて、今年度より配置していただいている校務支援員のような必要な職員を配置できるようにしていただきたいと考える。各学校によって規模や児童生徒の実態、地域性等が異なり、必要な人材のニーズも違う。先に述べた人材だけでなく、図書館指導員や部活動指導員、ICT支援員等も考えられる。

学校の実態に応じて必要な人材を増配置することで、教員が授業研究を深めたり、子供たちと接する時間に余裕が生まれたりし、学力向上や生徒指導につながると考える。是非、増配置をお願いしたい。

【矢木澤義務教育課長】

現在、養護教諭の複数配置については基準より多く配置している。スクールカウンセラーも増配置に努めており、県としても最大限努力しており、引き続き努力していく所存である。スクールソーシャルワーカーについては市町と連携を図りながら増配置に努めたい。今年度配置した校務支援員についても同様である。学校課題を解決していくためには様々な人が関わることが大切だと考えている。市町とも連携しながら今後も取り組んでいく。



○ 配慮が必要な児童生徒への個に応じた指導の充実に向けて、通級指導教室の増設および中学校への拡充を図るとともに、学校の実態に応じた人材の増配置を行うこと。



【安本事務局長】昨年末、国の来年度予算の閣議決定において、教職員定数の改善として加配定数の基礎定数化が図られた。発達障害等の児童生徒への「通級による指導」の充実に向け、対象児童生徒13人に教職員1人の割合で、全国で602人の増員となった。

現在、香川県においては、通級指導教室は全ての市町、小学校22校に設置されている。また本年度より、高松第一小学校(高松市北部ブロック)と多度津小学校(多度津町)にて、拠点校方式による通級指導教室が試験的に実施されている。発達障害とみられる配慮が必要な児童生徒の数は年々増加している傾向にあり、配慮していただいていることに感謝する。

【右上に続く】

【左下より続く】

ただ、中学校においては通級指導教室が実施されていないため、各校で空き時間の教職員が対応したり、個に応じた指導が十分に行われていないといった声も現場から聞こえてくる。拠点校方式にすることにより、中学校への対応を考えているといった回答を県教委からいただけており、様々な対応を考えていただいていることに感謝するが、現場のニーズの多さに対応するには至っていないと思われる。

通級指導教室の増設および中学校への拡充を図ることで、支援の必要な児童生徒への合理的配慮やインクルーシブ教育の推進につながると考える。さらなる充実をお願いしたい。

【松木特別支援教育課長】

通級指導教室は現在、平成26年度から全ての市町に設置している。各学校には担当教員として加配措置をしている。中学校の通級指導については、今年度より実施している拠点校方式の検証を行い、更なる充実を図っていく。担当教員の専門性を高める研修を行ったり、指導主事が全ての通級指導教室を視察して現状を把握したりしており、今後も通級による指導の充実を図っていく。



○ 若年教員の増加に伴い、結婚等特別な事情がある場合、本人の置かれた状況を勘案した人事異動を行うこと。



【原田副委員長】昨年度の人事異動において全県で90%を越える会員の強い留任希望が叶えられたことに感謝申し上げる。香教連会員の最近の傾向として強い留任希望をもつ会員が増えている。勤務校で留任することでじっくり腰を据えて保護者や子供たちと関わり能力を発揮することができている。ただ若年教員の大量採用時代を迎え、今後結婚等で通勤等の環境が大きく変わってしまう教員が増加してくることが考えられる。その際、本人の置かれた状況を勘案した人事異動を行うことを要望する。

昨年度香教連会員の中で、3年間島嶼部で勤務し、結婚により高松市等への異動を希望していたが、異動が叶えられなかった例があった。このことは、将来のライフプランに大きく影響する可能性もある。結婚だけでなく、育児や親の介護等においても本人の置かれた状況個人面接で十分聞き、配慮した人事異動を行っていただきたい。

【矢木澤義務教育課長】

若年教員が増加しており、結婚等の理由や本人の思いをしっかりと管理面接で伝えてもらいたい。それを受けて県としても引き続きしっかりと人事異動を考えていく。結婚においては、両者が教員の場合、管理面接で両者の言うことが違わないようにしてもらいたい。県としても、教員のライフステージを十分考慮した人事異動となるように心がけたい。



【2面に続く】→

【1面よりつづき】→

○ 若年教員の増加に伴い、管理面接において各自の勤務地域数と主たる勤務地域について確認するとともに、地域間異動の経験を考慮した人事異動とすること。



【矢代委員長】6地域の考え方が浸透しており、本人も2地域以上を経験しているかどうかはご存じだとは思いますが、若年教員の増加に伴って主たる勤務地域の確認も含め、管理面接でしっかりと確認していただきたい。

また、地域間異動の経験を考慮した人事異動としていただきたい。人事異動の基本的な考え方の(4)の②の中に、6地域のうち異なる2地域以上に勤務することを原則とするがあるが、香教連

会員の中には地域間異動を複数回経験した教員があり、地域間経験のない教員がいるということに対して、不公平感を持っている方もいらっしゃる。様々な事情はあると思うが、地域間異動を行う場合は地域間異動経験の無い方を優先するよう各教育事務所、市町教育委員会に伝えていただきたい。

【矢木澤義務教育課長】

地域間の異動については、前向きに捉えてほしい。管理面接等で意思をしっかりと確認していく。求められて地域間交流に行く場合もある。市の実情(面積)も考慮している。公平・公正な観点で考えている。若年の先生方には、全果的な活躍をしてもらうためにも、多くの地域を知ることが大切だと考えている。



○ 校種間異動については、管理面接等で確認をしっかりと行い、本人の意思を尊重した人事異動とすること。



【矢代委員長】学校教育制度の多様化・弾力化を推進するため、設置可能となった義務教育学校では、小学校段階からの教科担任制も今後求められている。中でも2020年から実施される英語や専門的な指導が必要な理科や体育等において、専科教員によるより専門的な指導を小学校段階で行うことは、学習への意欲や興味・関心を高めることにつながると考える。子供たちに質の高い教育を受けさせるためにも、小学校高学年での専科指導は重要であると考え、国の方でも、小学校専科指導の充実として加配定数の改善が図られ、全国で165人の増員となった。専科指導の充実を図るため、必要な教員の配置をお願いしたい。

ただそれに伴い、現在中学校に勤務している教員が小学校に異動したり、小中を兼務したりといった校種間異動が今後多くなると予想される。管理面接等でしっかりと意思を確認していただき、本人の意思を尊重した人事配置・人事異動となるよう、お願いしたい。

【矢木澤義務教育課長】

校種間異動については将来的には、当たり前のように根付いてほしいといった考えもある。小中連携や学校課題の解決、教師の専門性等も十分に考えた上で、先生方が活躍できるよう、配置していきたい。今後も管理面接等において、本人の希望をしっかりと聞いていく。



○ 公立学校教員採用選考試験における講師に対する特別選考を継続するとともに、優秀な人材が採用できるよう配慮すること。



【原田副委員長】講師経験を加味した公立学校教員採用選考「特別選考」の実施も継続6年目となった。継続していただいていることに対して大変感謝申し上げます。このことは、香川県教職員の指導レベルの維持向上はもちろん、優秀な人材の確保の面からも非常に有効であると考えます。

今後も教育現場で日々頑張っている講師のために、「特別選考」を継続していただくとともに、最近4年間の間に24ヶ月以上勤務実績がある者という条件の緩和等も是非検討していただきたい。

以前より、「教員採用については、公平公正に行う必要があり、適格者の採用に努めている。」と回答いただいているが、近県では英語資格や司書教諭の資格を持つ者、中学校教諭の志願者で複数教科の免許状を有する者には第1次審査の総合点に加点するといった制度もとられ、優秀な人材確保のための方策が見られる。

香川県においても来年度より、特別選考Ⅲとして、県外で教員をしている者については1次選考が免除となり、県外で教員をしている者が香川に帰って来やすい制度となった。ただ、志願者の倍率も下がっている現状もある。

また、香川大学では教員採用が内定している学生のインターンシップを1週間実施しているが、他の大学にもそういった制度を働きかけたり、県の制度として整備したりすることも含め、香川の子供たちのために熱意をもった優秀な人材を確保するために、今後も配慮していただきたい。

【矢木澤義務教育課長】

県としても優秀な人材や確保のために、特別選考の基準等については適宜見直しを図っていきたい。人物をしっかりと見て採用していくように心がけたい。



【西原教育長のお話】

学校課題等の解決に向けて、教員同士が共通意識が持てるような教職員集団となることが大切であると考えている。そのためにも人事異動は重要である。教員一人一人が力を発揮できるような配置を心がけたい。そのためにも管理面接等でしっかりと本人の意思を聞き、配慮していきたい。

教員の採用については、大学との連携も図りながら、優秀な人材を確保できるようにしたいと考えている。



研修会・行事等のお知らせ

①3月4日(土) 第8回香教連講師部研修会

今回の研修会が本年度最後となるが、年度のまとめではなく、来年度の教員採用選考試験合格に向けた研修会として以下のように開催する。各校で、また講師部会員になっていない講師の方には、声をかけていただきたい。

- 日時 3月4日(土)
- 会場 香川県教育会館2階 第1・2会議室
- 日程
 - 受付 9:00~
 - 開会行事 9:30~9:40
 - 講義 9:40~10:20
 - ・平成30年度採用選考試験に向けて
 - 模試 10:30~11:50
 - 平成30年度採用選考試験
 - 時事通信出版局全国模試
 - 閉会行事 11:50~12:00
- ※ 申し込み、詳細は同封の案内をご覧ください、香教連事務局まで直接お申し込みください。
- 電話 087-835-2721
- FAX 087-835-2723

②3月5日(日) 養護教諭部研修会

今年度2回目の養護教諭部研修会を以下のように開催する。養護教諭OBの先生から養護教諭の執務に関する疑問・質問にお答えいただくとともに後輩養護教諭へのメッセージをいただく。その後ランチを食べながら情報交換会も予定している。有意義な会になるようぜひ参加いただきたい。

- 日時 3月5日(日) 10:30~
- 場所 研修会場 サンポートホール高松 7階 和室
- 情報交換会 未定
- 講師 本田良子先生、岡野敬子先生

※ 申し込み、詳細は同封の案内をご覧ください、香教連事務局まで直接お申し込みください。

電話 087-835-2721
FAX 087-835-2723

③3月27日(月) 第7回会長・事務局長会

本年度最終の会長・事務局長会になる。18:00より香川県教育会館で開催する。第3回人事対策委員会と併設して行う。人事異動に関する意見交換を行い、平成28年度末人事異動の総括を行うと同時に、平成29年度に向けた取組・要望の方向を議論する。

☆ご意見・ご要望は、香教連事務局まで☆
TEL 087(835)2721 FAX 087(835)2723
e-mail info@kakyoren.com